



(写真) Shutterstock “国内生産・工業省 自動車組立部品の輸入手続きに関する決議を公布”

## 2025年6月13日(金曜)

### 政治

- 「[市長・市議選の出馬期限 6月17日に延期](#)」
- 「[トゥルバイ議員銃撃事件 ベネズエラ人逮捕](#)」
- 「[グアイド元議長 外国の政府認識巡る汚職疑惑](#)」

### 経済

- 「[自動車組立用部品の輸入許可 MEIV の決議発行 ～カテゴリーに応じ国内部品最低使用率あり～](#)」
- 「[Digitel ベネズエラ初の5Gサービスを開始](#)」
- 「[25年前期 ベネズエラ向け送金26.3%減](#)」

### 社会

- 「[ベネズエラ聖人2名列聖式 10月19日開催](#)」

## 25年6月14-15日(土・日)

### 政治

- 「[与党 全国335市の推薦候補を決定 ～リベルタドル市はカルメン・メレンデス～](#)」
- 「[マドゥロ大統領 野党牙城での当選目指す](#)」

### 経済

- 「[ベネズエラードミ共 11か月ぶりに空路再開](#)」
- 「[Coposa 9年ぶりにひまわり油工場を再開](#)」
- 「[制裁ライセンス失効でスリア州経済低迷](#)」
- 「[国内生産省 皮革製品の生産拡大で協力](#)」

### 社会

- 「[伯 ベネズエラ人亡命申請者26.7万人](#)」

2025年6月13日（金曜）

## 政治

「市長・市議選の出馬期限 6月17日に延期」

6月13日 「選挙管理委員会（CNE）」は、7月27日に予定されている全国市長・市議会議員選の出馬期限を6月17日に延長すると発表した（下が発表文）。

出馬期限は元々、6月13日だったので4日間伸びたことになる。



REPÚBLICA BOLIVARIANA DE VENEZUELA  
PODER ELECTORAL  
CONSEJO NACIONAL ELECTORAL  
215° y 166°

COMUNICADO OFICIAL

ELECCIONES MUNICIPALES 2025

PRÓRROGA DEL LAPSO DE PRESENTACIÓN,  
MODIFICACIÓN Y SUSTITUCIÓN DE  
POSTULACIONES

El Consejo Nacional Electoral, en atención a las solicitudes presentadas por las distintas organizaciones con fines políticos participantes en las Elecciones Municipales 2025, hace del conocimiento público que, en ejercicio de la atribución que le confiere el numeral I del artículo 33 de la Ley Orgánica del Poder Electoral y, en particular, el artículo 59 de la Ley Orgánica de Procesos Electorales, en sesión permanente del día de hoy, ha decidido **prorrogar hasta el día martes diecisiete (17) de junio** el lapso de presentación, modificación y sustitución de postulaciones.

Con la prórroga otorgada, el Consejo Nacional Electoral ratifica su compromiso en garantizar el derecho al sufragio y a la participación política del pueblo venezolano, así como de hacer efectivos los principios de transparencia, igualdad,

CNE が選挙スケジュールを発表したのは6月4日（「ベネズエラ・トゥデイ No.1226」）。

発表から9日で出馬期限が締め切られるという極めてタイトなスケジュールだった。

6月17日でもスケジュールがタイトであることは変わらないが、多少は検討する期間が延びている。

## 「トゥルバイ議員銃撃事件 ベネズエラ人逮捕」

6月7日 コロンビア大統領選への出馬意志を表明していたミゲル・ウリベ・トゥルバイ上院議員（39歳）が、選挙イベントの際に頭部などに複数の発砲を受けて緊急搬送された（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1227](#)」）。

本件については、実行犯として15歳の少年が逮捕されていたが、事件に関与したとされる新たな関係者が逮捕された。

逮捕されたのはベネズエラ人の Carlos Eduardo Mora González 氏。カラボボ州バレンシア生まれの27歳男性。報道によると、González氏は2024年にCaquetá県 Florencia にて銃の違法所持で逮捕されたことがあるという。

González氏は、シルバーの車（Chevrolet Spark）で実行犯の少年を現場付近に送り、事件で使用された拳銃（Glock 9）を少年に渡したとされる。

現地メディア「El Tiempo」は、逮捕後のGonzález氏による自供内容について報道。González氏の証言によると、本件には「El Costeño」と呼ばれる人物と、El Costeñoの恋人とされる人物も関与しているという。

また、El Costeñoはエクアドルにいる「El Churco」と呼ばれる人物から指示を受けていたと報じられている。

なお、実行犯の少年はバイクの後部座席に乗って襲撃現場に到着していた。

実行犯の少年を乗せたバイクの運転手は自主的に検察庁に出頭しており、今回の襲撃事件とは一切の関与がないと主張。バイク便アプリケーションで女性からの依頼を受けて少年を指定の場所に送っただけと説明している。

この女性は「Gabriela」と呼ばれており、本件に深く関与しているとされている。

また、バイク運転手曰く、少年は自分がどこにいるのかも分かっておらず、お金も持っていなかったためバイク便の代金を支払うことが出来なかったという。

そして、バイク便の代金を支払うために携帯で誰かに電話をかけ、やり取りの後に運転手の口座に1万ペソ（約2.4ドル）の送金があったという。



（写真） Sumarium

“逮捕された Carlos Eduardo Mora González 氏”

### 「グアイド元議長 外国の政府認識巡る汚職疑惑」

6月13日 2023年1月まで暫定大統領を務めていたファン・グアイド氏の汚職疑惑が報じられた。

スペインメディア「El Mundo」は、スペインのサンチェス政権下で2018年～21年まで交通相を務めていた José Luis Ábalos 氏と、Ábalos 氏のアドバイザーを務めていた Koldo García 氏（グアイド元議長と Ábalos 氏の仲介役を務めていたとされる）との会話の音声データを公表した。

この音声データは、2019年4月9日に録音されたもので、この音声データを聞く限り、グアイド氏はスペイン政府による支援を得るために、石油産業のビジネスを通じた賄賂の支払いを提案しているように理解できる。

具体的には、Ábalos 氏に対して月50万ユーロを3年間支払うと提案しているようだ。

当時は、2019年1月にグアイド暫定政権が発足し、世界的にベネズエラの政府認識が不明確になっていた時期だった。グアイド元議長は、スペイン政府からベネズエラの正当な政府としての認識を得るため、スペイン政府高官に賄賂の支払いを提案していたと認識できる。

ただし、グアイド氏は賄賂の支払いを提案すると明確には言及しておらず、あくまで疑惑の域を出ない。

この音声データの公表を受けて、ベネズエラのタレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、国際警察（インターポール）にグアイド元暫定大統領の拘束を申請。

ただし、米国に亡命しているグアイド氏を逮捕するのは容易ではないだろう。

## 経済

### 「自動車組立用部品の輸入許可 MEIV の決議発行 ～カテゴリーに応じ国内部品最低使用率あり～」

国内生産・工業省は、自動車の組立用部品の輸入許可（MEIV）に関する規則を定める決議を公布した。この決議は5月10日付の官報で掲載されており、発行日も5月10日となっている。

同決議の一部を紹介すると、自動車組立業者としてベネズエラ国内で事業を行うためには内資企業、外資企業に関わらず、国内生産・経済省と「自動車組立協定」を締結しなければいけない。

組立自動車は、関税番号に応じて「1」「2a」「2b」の3つのカテゴリーに分類され、それぞれのカテゴリーで適用される条件が変わる。

組立業者は、カテゴリーに応じて、以下の最小国内部品使用率を順守する必要がある（ただし、新モデルについては3年間カ月間の免除期間が設けられる）。

Categoría / Año	2026	2027	2028 en adelante
Categoría 1	40	45	50
Categoría 2a	35	40	50
Categoría 2b	35	40	50

また、組み立て部品を輸入するに当たり、国内生産・経済省に対して、輸入する組み立て部品の詳細情報を提出しなければならない。

その後、国内生産・工業省は詳細情報を精査し、「自動車組立部品輸入証明書 Calificación de Material de Ensamblaje Importado para Vehículos (MEIV)」を発行する。

この MEIV の発効をもって、自動車組立業者は徴税庁（SENIAT）に各種手続きを行うことが可能になる。

他、自動車組立業者および販売者は、販売した自動車について最低でも10年間のメンテナンスを保証するために部品を供給することが義務付けられる。

現時点ではオリジナルの決議を確認できていないが、追って詳細を紹介したい。

### 「Digitel ベネズエラ初の5Gサービスを開始」

6月13日 通信サービス大手「Digitel」の Luis Bernador Pérez 社長は、ベネズエラで初めて高速通信5Gの通信サービスの提供を開始すると発表した。

最初に5Gの通信サービスを開始するのは、バリナス州とヌエバエスパルタ州の2州。その後、他の州でもサービス提供を拡大すると説明した。

2025年1月 マドゥロ政権は、4G、5Gを使用できるサービスプロバイダーを決めるための入札を実施。「Digitel」は「BB帯」を8692万ドルで落札していた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1172」](#)）。

また、同落札を受けて25年3月には、「国家電気通信委員会（CONATEL）」と5Gサービスを15年間提供する契約を締結していた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1193」](#)）。

## 「25年前期 ベネズエラ向け送金26.3%減」

ベネズエラ人経済学者 Leonardo Soto 氏は、2025年前期（1～6月）の外国からの送金額について、前年同期と比べて26.31%減少したとの見解を示した。

Soto 氏によると、24年前期の送金額は38億ドルだったという。しかし、25年前期は28億ドルまで減少したと指摘している。

また、Soto 氏は外国からの送金がベネズエラ国内消費の60%を支えていると指摘。送金減少により、経済成長が減速するとの見方を示した。

他、外国に移住したベネズエラ人について、「約800万人が国外に移住したが、そのうち外国で安定した生活を実現できているのは200万人で、残る600万人は定職がないなど不安定な環境で送金能力に限りがある」との見解を示した。

## 社 会

## 「ベネズエラ聖人2名列聖式 10月19日開催」

ローマ・カトリック教会は、ベネズエラ人医師ホセ・グレゴリオ・エルナンデス氏および宗教施設「Siervas de Jesús」の創設者であるベネズエラ人カルメン・エレナ・マルティネス氏の列聖を承認している（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1183」](#)「[No.1198](#)」）。

6月13日 ローマ・カトリック教会は、両名の列聖式を10月19日にバチカン（San Pedro 広場）にて実施すると発表した。

なお、ベネズエラでの両名の列聖を祝福する祭事は10月25日に開催される予定だという。

## 2025年6月14日～15日（土曜・日曜）

## 政 治

## 「与党 全国335市の推薦候補を決定

～リベルタドール市はカルメン・メレンデス～」

6月14日 与党「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」のディオスダート・カベジョ副党首は、7月27日の全国市長選に出馬する335市の推薦候補を決定したと発表。主要都市で出馬する候補者の名前を公表した。

主要な候補者は以下の通り。

カラカス首都区

Libertador 市: Carmen Teresa Meléndez Rivas.

アンソアテギ州

Simón Bolívar 市 (Barcelona): Sugey Yolani Herrer.

アラグア州

Girardot 市 (Maracay): Rafael José Morales Cazorla.

カラボボ州

Puerto Cabello 市: Juan Carlos Betancourt Uribe.

Valencia 市: Dina Andreina Castillo Ortega.

ファルコン州

Carirubana 市 (Punto Fijo): Luis Manuel Piña Peña.

ラグアイラ州

Vargas 市: José Manuel Suárez Maldonado.

ララ州

Iribarren 市: Yanez Enrique Agüero

メリダ州

Alberto Adriani 市 (El Vigía): Miguelangel Reyes Herrera.

ミランダ州

Cristóbal Rojas 市 (Charallave):

Yuismar Coromoto Hernández Pérez.

Guaicaipuro 市 (Los Teques):

Farid Eduardo Fraija Norwood.

Independencia 市 (Santa Teresa):

Frainer Jesús Pulido Fuentes.

Sucre 市 (Petare): Diógenes Lara.

スクレ州

Sucre 市 (Cumaná): Pedro Germán Figueroa Medina.

スリア州

Maracaibo 市: Gian Carlo Di Martino Tarquino.

San Francisco 市: Héctor Elís Soto López.

### 「マドゥロ大統領 野党牙城での当選目指す」

6月14日 マドゥロ大統領は市長選について言及。

野党の牙城とされるチャカオ市、バルータ市、エルアテ  
イージョ市の3都市についても与党候補の当選を目指  
すとの見解を示した。

「もし、彼ら（野党）が現状を放置するのであれば、我々  
は市長選で勝利することだろう」「あの地域（チャカオ  
市、バルータ市、エルアテイージョ市）は非常に反対派  
が多い」「21世紀の社会主義革命に傾倒する我々政治  
リーダーの統治がどのようなものかを示す機会になる」  
と指摘。

また、マドゥロ大統領は、チャカオ市の市長を務めたこ  
とのあるレオポルド・ロペス氏（大衆意思党（VP）の党  
首）の父親（スペイン国会の議員）についても言及。

「ジャーナリストは、チャカオ市の建設物の建築許可を  
得るためにいくらかかったのか、誰に支払いを行ったの  
かを調査すると良い」

「チャカオ市で建設許可を得るために起業家はレオポ  
ルド・ロペス氏の父親に賄賂を支払っており、その支払  
いは最近まで続いていた」  
と訴えた。

### 経 済

#### 「ベネズエラードミ共 11カ月ぶりに空路再開」

「ベネズエラ航空監督局（INAC）」は、ベネズエラド  
ミニカ共和国の国際線の運航を再開すると発表した。

アルゼンチン、ウルグアイ、コスタリカ、エクアドル、  
グアテマラ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共  
和国は、2024年7月にベネズエラで行われた大統領  
選の信頼性に疑義を呈する声明文を公表。

この声明文の発表を受けて、マドゥロ政権は、パナマと  
ドミニカ共和国の国際線を停止すると発表。

24年7月31日に国際線が止まって以降、約11カ  
月ぶりの運航再開となる。

なお、ドミニカ共和国と共に国際線が止まったパナマは  
5月23日から運航を再開している（「[ベネズエラ・ト  
ウデイ No.1221](#)」）。

#### 「Coposa 9年ぶりにひまわり油工場を再開」

6月11日 ひまわり油メーカーとして知られる国営  
公社「Consortio Oleaginoso de Portuguesa S.A (Coposa)」  
は、民間企業「Diproagro」の支援を受けて、ポルトウ  
ゲサ州にある同社の工場を9年ぶりに再開した。

「Diproagro」は、農産物の種子・農薬・肥料の流通に特化した企業。ポルトゥゲサ州のひまわり農家に融資を行っており、実質的にポルトゥゲサ州のひまわりの収穫物は同社のものになっているという。

農家は Diproagro と契約を行うことで、事前に収穫物の価格と販売先が決まることになる。また、生産効率が向上した農家には特別ボーナスが支給されるインセンティブも設定されている。ベネズエラでは新しい仕組みだという。

「全国農業連合会（Fedegro）」のデータによると、2024-25年のひまわり畑の面積は約3000ヘクタール。一方、2025-26年は3万ヘクタールを予定しており、面積が10倍に増える見通しだという。

### 「制裁ライセンス失効でスリア州経済低迷」

「ベネズエラ経団連（Fedecamaras）」スリア州支部の Paul Márquez 代表は、Chevron の制裁ライセンス失効によりスリア州経済が低迷しているとの懸念を示した。

「石油産業に限らず、商業セクターについても販売量が減っているとの声を聞いている」「不動産業界についても、石油業界で働く人が減ったことで賃貸需要が減少したとの意見を確認している」

「(Chevron の制裁ライセンス停止により) スリア州経済の全ての経済システムに悪影響が出ていることを感じている」

「石油産業を主要な経済原動力とするスリア州では石油産業が正常に機能することは非常に重要である」  
との見解を示した。

### 「国内生産省 皮革製品の生産拡大で協力」

制裁緩和を受けて、2021年からベネズエラ経済は回復傾向にあるものの一部の産業は回復の兆しが見えていない。皮革産業は他国製品との競合に苦しみ、あまり回復が進んでいない業界と言える。

国内生産・工業省と皮革業界の関係者は、皮革製品の国内生産を拡大させるための合意を交わした。

具体的には、政府からの融資、技術支援、アドバイスなどを受けるという。

## 社 会

### 「伯 ベネズエラ人亡命申請者26.7万人」

ブラジル司法省は、2015年～24年にかけて45.5万人の外国人がブラジルに亡命申請を行ったと発表。

このうち半分超の26万6862人がベネズエラ人だったと説明した。

ベネズエラに次いで亡命申請が多かったのは、キューバ人で5万2488人、ハイチ人が3万7283人、アンゴラ人が1万8435人。この4カ国だけで亡命申請者数の82.6%を占めているという。

最も亡命申請が多かった年は2019年で、同年の亡命申請者数は45.5万人の18.2%に相当する8万2552人だった。

また、45.5万人の申請を受けて、ブラジル政府が亡命を許可した人数は15万906名。うち93.6%はベネズエラ人だったという。

以上